

北海道における帰化植物 ホソバヤハズエンドウ (マメ科) の記録

斜里町 内田 暁友
内田 雪華

筆者らは2017年6月に開催された北海道フラワーソン(道内の一斉開花種調査)に参加した。その際、調査をおこなった北海道東部の清里町でホソバヤハズエンドウ *Vicia sativa* L. subsp. *nigra* (L.) Ehrh. var. *minor* (Bertol.) Gaudin の開花を確認した(学名と和名は米倉(2012)による。以下同じ)。これまで北海道では別亜種のオオヤハズエンドウ(オオカラスノエンドウ) *V. sativa* L. subsp. *sativa* の帰化については記録されていたが(五十嵐2016)、ホソバヤハズエンドウの帰化については未記録であったため、以下に報告する。なお、本報告をまとめるにあたり五十嵐博氏に助言をいただいた。ここにお礼を申し上げる。



図1 生育地 2017.7.16

生育地は斜里郡清里町の緑ダムに近い林道の縁で、明るく乾燥した平坦な環境である(図1)。林道沿いの約200mの範囲

に点々と数十の開花個体が生育していた。2017年6月16日に開花を、同年8月7日には熟した豆果を確認した。なお、この観察期間中に少なくとも1回は生育地で林道維持のための草刈りが行われていた。

この生育地でみられたホソバヤハズエンドウ(図2)は以下のような特徴がみられ、大井(1975)のホソバヤハズエンドウの記載における変異の範囲内と考えられた。

茎と葉にはまばらに毛がある。小葉は4-8枚からなり、長さは25mm以下で幅1.5-3.0mm、線形-狭楕円形だが、茎の下部では長さが5mmまで短くなり、倒卵形になる。鋭頭-切頭-凹頭で先端は凸頭となる。托葉は2裂して鋸歯があり、腺点がある。花は葉腋に1個つき、長さ10-12mm、萼は長さ7-8mmで有毛、萼裂片は狭三角形でほぼ同長。豆果は長さ20-30mm、幅3-5mmで有毛、熟すと黒褐色になって裂開する。種子は直径2.0-2.5mm、褐色で斑点がある。

ホソバヤハズエンドウはこれまで国内では本州、四国、九州から分布が知られていた。同様に本州以南に分布するヤハズエンドウ(カラスノエンドウ) *V. sativa* subsp. *nigra* var. *segetalis* (Thuill.) Ser. とは形態の違いは小さいものの、全体が繊細で葉の幅が2-5mmと狭いことから、区別す

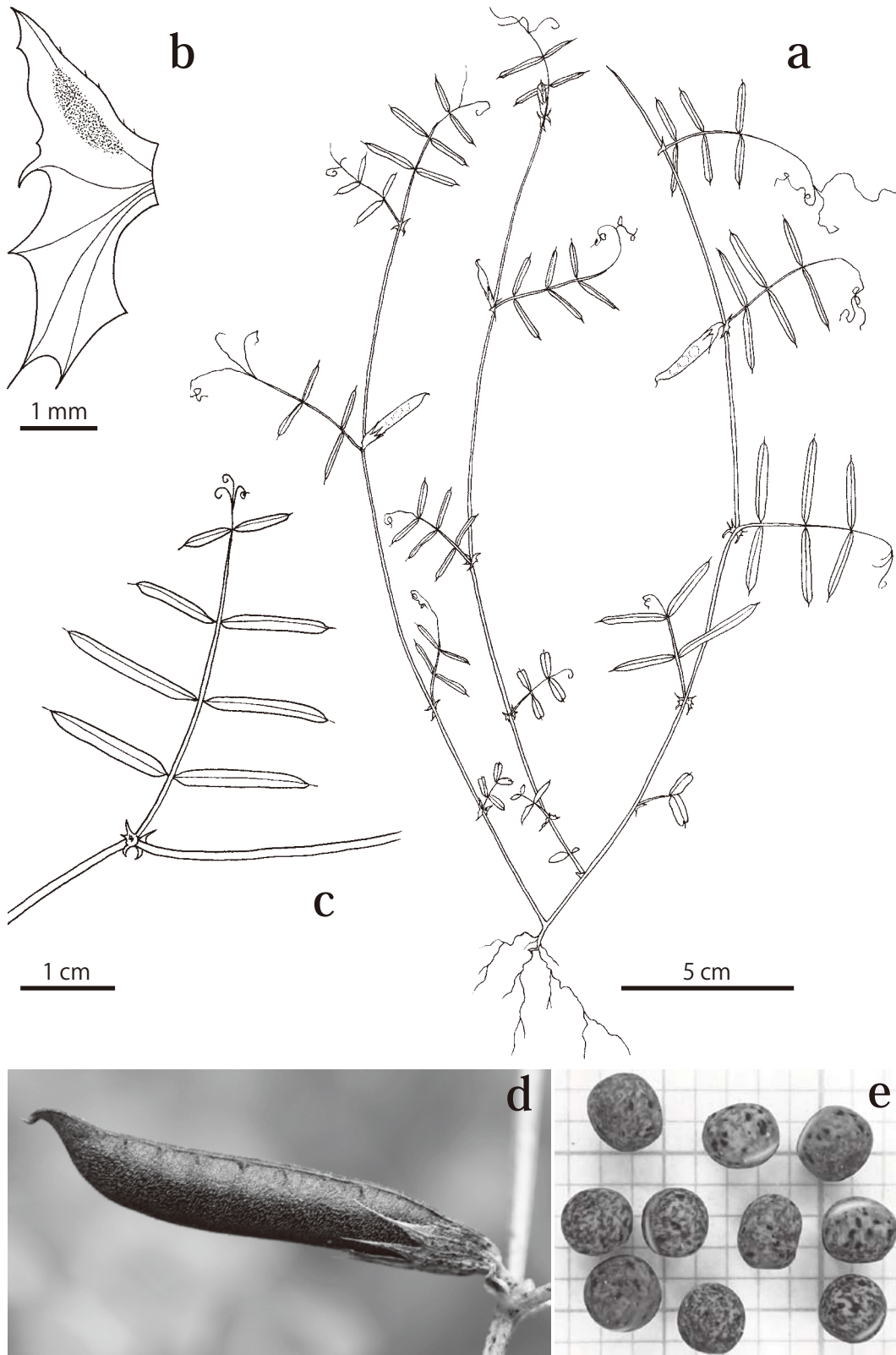


図2 ホソバヤハズエンドウ *Vicia sativa* subsp. *nigra* var. *minor* a: 全体 b: 托葉 c: 葉
d: 豆果. 2017年8月7日 e: 種子. スケールは1 mm a-c: SAPS 51694

正誤訂正：図2のキャプションの最後
誤：a-c: 正：a:

る場合は同種または同亜種の種内分類群として扱われてきた (ex 大井 1975)。しかしヤハズエンドウはもともと変異の幅が大きく、これらについては様々な見解がある。例えば大橋 (2016) はヤハズエンドウを *V. sativa* subsp. *nigra* とし、ホソバヤハズエンドウをこれに含めて区別しない。

また、大橋 (2016) は広義のヤハズエンドウを在来とし、米倉 (2012) を狭義のヤハズエンドウを在来、ホソバヤハズエンドウを帰化としているなど、在来種かどうかの扱いも一定していない。

ヤハズエンドウとホソバヤハズエンドウはともにこれまで北海道から記録がなかったが、東北地方では狭義のヤハズエンドウとホソバヤハズエンドウは分布域が重なっており、前者に比べて後者の分布地はごく限られる (藤原・阿部 2017)。そのため北海道の他地域で狭義のヤハズエンドウの記録が無いなか、北海道東部にホソバヤハズエンドウのみが自然分布するとは考えにくい。

これらのことから、本報告ではホソバヤハズエンドウを少なくとも道内への新たな国内帰化植物として扱うことにした。

ホソバヤハズエンドウは (1) 葉腋につく花の数が 1-3 個で、(2) 托葉に大型の腺点があり、(3) 小葉は線形で幅が 2-5 mm であることで北海道内の他のソラマメ属 *Vicia* の種と区別できる。なお、北海道内でホソバヤハズエンドウと同様に葉腋に 1-3 と少数の花をつけ托葉に大型の腺点のあるソラマメ属の種にイブキノエンドウ *V. sepium* L. とオオヤハズエンドウがある。

葉の形態以外にもイブキノエンドウは側萼裂片が三角形になることで、またオオヤハズエンドウは茎の毛がより密で、花の長さが 18-20 mm、豆果の幅が 7-10 mm とより大きいことで区別できる (大橋 2016)。

標本

ホソバヤハズエンドウ

Vicia sativa L. subsp. *nigra* (L.) Ehrh. var. *minor* (Bertol.) Gaudin

北海道網走地方:斜里郡清里町。斜里川流域、一の沢川。43° 40'18.4" N, 144° 36'51.9" E, ±38m, WGS 84, 270-290m alt., June 17, 2017, SAPS 51693; 43° 40'18.0" N, 144° 36'51.5" E, ± 14 m, WGS 84, 270-280m alt., July 16, 2017, SAPS 51694; 43° 40'18.7" N, 144° 36'51.3" E, ± 15 m, WGS 84, 270-280 m alt., Aug. 7, 2017, SAPS 51695.

引用文献

- 五十嵐博. 2016. 北海道外来植物便覧 2015 年版. 北海道大学出版会, 札幌.
- 大井次郎. 1975. 改訂増補新版日本植物誌 顕花篇. 至文堂, 東京.
- 大橋広好. 2016. マメ科. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩 (編). 改訂新版日本の野生植物 2, pp. 240-306. 平凡社, 東京.
- 藤原陸夫・阿部裕紀子. 2017. 北東北維管束植物分布図. 秋田植物研究会, 秋田市.
- 米倉浩司 (著)・邑田仁 (監). 2012. 日本維管束植物目録. 北隆館, 東京.